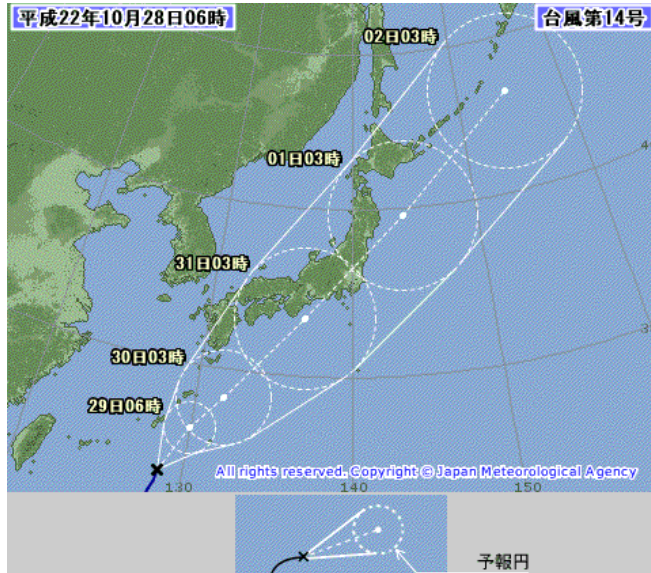


台風14号に対する農作物の技術対策

福島県農林水産部研究技術室



非常に強い台風第14号が那覇市の南にあって北北東に進んでいます。29日は、大東島地方では波の高さが9メートルを超える猛烈なしけとなるおそれがあります。暴風、高波及び大雨に厳重に警戒して下さい。

(出典：平成22年台風第14号に関する情報第15号 平成22年10月28日04時55分 気象庁予報部発表)

今後の台風の情報に留意し、農作物の管理には十分注意しましょう。

1 野菜・花き

(1) 事前対策

- ア ほ場周囲の排水溝を点検し、速やかに排水できるようにしておきます。
- イ ほ場周囲に防風ネットを設置している場合は、ワイヤー・針金の緩みやネットの破損を点検し補修しましょう。
- ウ パイプハウスの被覆資材及び止め具(マイカ線、ビネット等)を点検し、ビニールの破損があれば補修しましょう。
- エ パイプハウスやネット栽培等で支柱を使用しているものは筋かいを入れ、補強しましょう。
- オ 施設では、天窗や扉があおられたり風が吹き込まないように完全に閉めておきます。
- カ 収穫可能なものは、できるだけ台風接近前に収穫しましょう。

(2) 事後対策

- ア 停滞水は、明きょなどで速やかな排水に努めましょう。

2 果樹

(1) 事前対策

- ア 現在、収穫期に入っている果樹では、強風による落果や傷害が懸念されるので、収穫可能な果実は事前に収穫しましょう。
- イ 立木では、強風により主枝などの大枝が裂けるおそれがあるので、支柱で支え、脱落しないよう枝受け部分を結束します。また、側枝は支柱等で固定すると落果を助長することがあるので、支柱等はずして風になびくようにします。
- ウ リンゴのわい性台樹は倒伏しやすいので、支柱への結束状態を確認し、不十分な場

合は補強しておきます。また、木支柱の場合は、支柱の根元が腐敗していないかどうか確認します。

エ 果樹棚（ナシ、ブドウ等）等の施設は、前もって点検し、強風の前にアンカー補強や棚線の締め直し等を行います。また、棚周囲に防風ネットを設置している場合は、風で飛ばされないように補強しましょう。

（２）事後対策

ア 落果した果実は速やかに収集し、適正に処理しましょう。

イ 滞水している園地では、明きょなどにより速やかな排水に努めましょう。

ウ 倒伏した樹はできるだけ早く起こし、土を盛り、支柱等で固定します。また、かん水やマルチにより根の乾燥防止に努め、新根の発生を促します。大枝が裂けた場合は、ボルトやカスガイ等で止めるか、縄などでしばり傷口を接着させます。

3 畜産・飼料作物

（１）事前対策

ア 強風による畜舎や堆肥舎等の損壊を未然に防止するため、施設の補強を行いましょう。

イ 畜舎等への風雨の吹き込みを防ぎましょう。

ウ 水はけの悪いほ場には明きょを掘削し、速やかに排水できるようにしましょう。

エ 堆肥舎への雨の吹き込みにより、堆肥や汚水が流出することが心配されますので、堆肥にブルーシート掛けを行うなど、流出を防止しましょう。

（２）事後対策

ア 畜舎等が浸水した場合は速やかに排水しましょう。そして、疾病発生予防のため畜舎内を洗浄し、乾燥させてから消毒を行いましょう。

イ 侵食や土砂流入が発生した草地は、早急に現状回復を図りましょう。必要によっては牧草の播種等を行ない、草地の生産力の回復を図りましょう。

農作業安全運動展開中！！

今年は農作業事故が増加傾向にあります。安全第一で作業しましょう。

- 1 余裕を持って作業しましょう
- 2 高齢者の事故に注意しましょう
- 3 機械点検時はエンジンを止めましょう

（ 福島県農作業安全推進本部より ）